

隔月刊「いいテク・ニュース」Vol. 183号【最新開催セミナーご案内！】

□■(株)技術情報センター ————— ■□

「いいテク・ニュース」

～ Ecology & Energy-Techno News ～

☆☆☆☆【6月開催セミナー・新規取扱書籍ご案内！！】☆☆☆☆

□■————— 2024.5.21 Vol.183 ■□

(株)技術情報センターのメルマガをご覧くださいありがとうございます。

青葉をさらさらと洗うように吹き渡ってくる風の心地よさ。

青々とした色やかぐわしい香りも運んできてくれるような薫風の季節です。

樹木からはフィトンチッドという芳香成分が発散され、ストレスの軽減に役立つことがわかっています。

緑の豊かな場所で森林浴をすると、心が安らぎます。

ただ、そのような効果が研究によって解明されるずっと以前から、人々は経験的に緑の持つ癒しを知っていました。

「薫風」という言葉からも、香りだけでなく、目にしみるような葉の青さや、匂うような初夏の風のさわやかさが伝わってきます。

そんな五月の風に、身も心もあずけてみたい、甘えていたいものです。

暫（しばら）くは五月の風に甘えたいし

柳屋小満

(株)技術情報センター「いいテク・ニュース」第183号をお届けいたします。

今回も2024年6月開催18セミナーと新規取り扱い書籍情報1タイトルと

盛り沢山の内容になっています。

ご興味がおありのテーマを選んでご覧いただくとありがたく存じます。

□ ■ ————— ■ □

i n d e x

□ ■ ————— ■ □

◇セミナー情報[2024年6月開催セミナー/18件]

2024年6月開催セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2024-06.html>

◇おすすめセミナーPick Up

6月25日(火)開催

「CO2からの合成燃料(e-methane、e-fuel)製造技術開発の動向と展望」セミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/20240611.html>

◇主催セミナー アーカイブ一覧

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-archive.html>

◇新規取り扱い書籍情報 (1タイトル)

<https://www.tic-co.com/books.html>

◇セミナー及び書籍・調査資料Webサイトアクセス数ランキング

<https://www.tic-co.com/access-lanking/al-index.html>

◇E-mail変更・不要について

<https://www.tic-co.com/merumaga.html>

◇季語に遊ぶ

<https://www.tic-co.com/kigoniasobu/zk202405.pdf>

□ ■ ————— ■ □

## セミナー情報

[2024年6月開催セミナー/18件]



当社主催セミナーを、開催日順でご案内致します。  
詳細につきましては、各セミナータイトルの下にございます  
URLにてご案内致しております。

### ■6月13日(木)-----

国際規格に基づく防爆電気機器の適用と最新動向について  
～水素・アンモニア発電、またロボットやモバイル機器のプラントでの活用など  
新たな防爆適用の範囲が広がっています。

防爆機器の構造から危険区域への適用まで詳細に解説～

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240601.html>

### ■6月14日(金)-----

～6名の講師による充実のラインナップ～

新たなバイオマス燃料に関する技術開発と事業動向

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ可能★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240616.html>

### ■6月18日(火)-----

植物工場による薬用植物・医薬品原材料など

高付加価値物質生産・栽培に関する技術・研究開発動向

～講師5名【千葉大学、プランテックス、エム式水耕研究所、  
朝日工業社、東京大学】ご登壇～

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240613.html>

■6月18日(火)-----

高強度鋼の水素脆化とその評価・解析技術

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240612.html>

■6月19日(水)-----

～汚泥・尿・排水（廃液）などからの～

リン資源の回収・リサイクルと利用を含めた事業動向・技術開発

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240615.html>

■6月19日(水)-----

圧縮機のエンジニアリング・設計・据付技術とその留意点

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240605.html>

■6月20日(木)-----

～講師4名：太陽電池モジュールの大量処理・廃棄に備えた～

太陽光パネルのリサイクル・リユースの最新動向と展望

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240618.html>

■6月20日(木)-----

有機ゼオライト【金属有機構造体(MOF)】の  
特性・合成技術と応用事例・展望

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240606.html>

■6月21日(金)-----

プラント概算見積の基礎と実際

～グローバル化の時代、事業採算性評価と判断にはスピードが求められる、  
そのベースとなる設備コストの推算を如何に迅速に行うか～

(先人の手法から知恵と工夫を学び、活用しよう)

★会場★

★ライブ配信★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240602.html>

■6月21日(火)-----

～講師3名（三菱化工機、東京ガスケミカル、川崎重工業）ご登壇～  
水素事業と技術開発への取組み・展望

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ可能★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240614.html>

■6月25日(火)-----

脱炭素、CO2削減の要！ガス、電力単価高騰時代に向けた  
最新熱回収の考え方と自然エネルギーをフル活用した

熱交換、ヒートポンプ、暑熱対策の最新事情（実際）の公開

－低～中温排熱回収と熱融通でエネルギー使用量の大幅削減方法と事例紹介、  
経年汚れ、腐食も考慮した徹底した地球を暖めない省エネ設備を導入していますか？－

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240603.html>

■6月25日(火)-----

CO2からの合成燃料(e-methane、e-fuel)製造技術開発の動向と展望

～大阪ガス、成蹊大学、産業技術総合研究所、

カーボンニュートラル燃料技術センター、出光興産の方々がご登壇～

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★2・3・5のみアーカイブ可能★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240611.html>

■6月26日(水)-----

～プラント建設プロジェクトにおける～

エンジニアのための仕様書の作成と押さえておきたい留意事項

～各フェーズ（契約～設計～調達、工事）において演習を交えて解説～

★会場★

★ライブ配信★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240604.html>

■6月26日(水)-----

グリーン／CO2フリーアンモニア製造と

合成に関する技術／研究開発動向・展望

～講師3名（日揮ホールディングス、東京工業大学、大阪大学）ご発表～

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240607.html>

■6月27日(木)-----

プラント配管の振動対策と設計における留意事項

～振動原因、対策方法、設計時の留意点、実際の振動事例など～

★会場★

★ライブ配信★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240610.html>

■6月27日(木)-----

排水からの窒素処理技術の適用と回収利用の実際

★会場★

★ライブ配信★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240608.html>

■6月28日(金)-----

—脱炭素時代のジェット燃料—

SAF（持続可能な航空燃料）の製造技術と事業動向・取組み・展望

～講師4名【NEDO、日揮ホールディングス、

日本微細藻類技術協会、環境エネルギー】ご登壇～

★個別（各テーマ）受講可能★

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ可能★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240617.html>

■6月28日(金)-----

地域グリッド・レジリエンス強化に向けた最新動向と取組み

～講師4名【岐阜大学、東京電力パワーグリッド、

東京電力ホールディングス、ネクステムズ】ご登壇～

★会場★

★ライブ配信★

★アーカイブ★

<https://www.tic-co.com/seminar/20240609.html>

各月毎のご案内を、下記URLにご用意致しておりますので是非一度  
ご覧頂けましたら幸いに存じます。

■ 受講申し込み受付中セミナー一覧

● 2024年2月開催アーカイブセミナー

<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-02archive.html>

- 2024年4月開催アーカイブセミナー  
<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-04archive.html>
- 2024年6月開催セミナー  
<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2024-06.html>
- 2024年6月開催アーカイブセミナー  
<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-06archive.html>
- 2024年8月開催セミナー  
<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2024-08.html>
- 2024年12月開催セミナー  
<https://www.tic-co.com/seminar/seminar-2024-12.html>

※開催決定・開催終了分より、随時追加・削除されていきますので、最新の情報は上記URLをご参照下さいませ。

■ ————— ■

おすすめセミナーPick Up

■ ————— ■

今回のPick Upセミナーは

「CO<sub>2</sub>からの合成燃料(e-methane、e-fuel)製造技術開発の動向と展望」セミナー

です。

本セミナーでは、午前（I部）にe-methaneに関する動向、SOECメタネーション技術の概要と大阪ガスでの取組み、今後の展望などについて、午後（II～V）にはe-fuel製造技術の概要、触媒・プロセスの開発動向、内燃機関への利用に向けた取組み、電気化学的CO<sub>2</sub>から合成ガスへの変換技術など斯界の最前線でご活躍中の講師陣に詳説頂きます。

- 講 師 大阪ガス株式会社 エグゼクティブフェロー  
 エネルギー技術研究所 SOECメタネーション開発室 統括室長 大西久男 氏

- 講 師 成蹊大学 理工学部 教授 里川重夫 氏
- 講 師 国立研究開発法人産業技術総合研究所  
エネルギープロセス研究部門 エネルギー触媒技術グループ  
研究グループ長 望月剛久 氏
- 講 師 一般財団法人カーボンニュートラル燃料技術センター (JPEC)  
合成燃料技術開発本部 研究部長 岡本憲一 氏
- 講 師 出光興産株式会社  
次世代技術研究所 環境・エネルギー研究室 テーマリーダー Qingxin Jia  
氏
- 日 時 2024年 6月 25日 (火) 10:45~18:30
- 会 場 東京・新お茶の水・連合会館 (旧 総評会館) ・会議室

※本セミナーは、会場での受講またはライブ配信 (Zoom) での受講も可能です。  
※セミナー資料 (テキスト) はセミナー開催日の直前にデータ (pdf) でお送り致します。

※アーカイブ受講可能 (事情により、II・III・Vのみ可能。)  
(当日受講及びアーカイブ受講の両方をご希望の方はそれぞれ受講料を頂戴致します。)

1. 受講料は39,600円となります。(※ I とIVの視聴は出来ません)
2. 恐れ入りますが、講師への質問は受付できません。
3. 開催日より7~10営業日以降に配信の準備が整いましたらご連絡致します。
4. ご都合の良い日をお伺いし、視聴用URLなどをお送り致します。
5. 動画の公開期間は公開日より3日間となります。

- 受講料 ◆1日受講 55,000円【1名につき】  
(同時複数人数お申込みの場合1名につき38,500円)  
◆午前 (プログラムIのみ) 受講 27,500円【1名につき】  
◆午後 (プログラムII~V) 受講 49,940円【1名につき】  
※上記全て、テキスト代、消費税を含む

●セミナープログラム●

10:45-12:15

## I. 革新的SOECメタネーション技術が切り拓く“e-methane革命”への挑戦

e-methane (e-メタン、合成メタン、e-NG) は、バイオマスと同様にカーボンニュートラルな非化石燃料であり、既存の天然ガスサプライチェーン、利用機器・設備などをそのまま活用可能であるため、熱需要や電力需要のカーボンニュートラル化を円滑に進めることができる合理的なエネルギーキャリアとして近年注目されている。水とCO<sub>2</sub>からe-methaneの低コスト製造を可能とするSOECメタネーション技術の概要と特長・当社の取組み、同技術によるe-methaneが海外再エネの輸入キャリアとして最も合理的なものになり得ること、暮らしや産業を変えないカーボンニュートラル化を目指した“e-methane革命”の姿などについてご紹介する。

1. 「カーボンニュートラル」を目指す背景とその本質
2. 海外低コスト再エネ輸入キャリアとしてのe-methaneの特徴
3. SOECメタネーション技術の概要と特長
4. 同技術開発に関する大阪ガスの取組み
5. 同技術によるe-methaneの再エネ輸入キャリアとしての優位性、  
e-methane発電の可能性
6. 同技術が切り拓く“e-methane革命”の姿
7. 質疑応答・名刺交換  
<質疑応答・名刺交換>

(大西久男 氏)

13:45-14:45

## II. CO<sub>2</sub>から合成燃料 (e-fuel) を製造する意義と技術の概要

2050年にカーボンニュートラルを達成するための検討が進められている。そのためには再生可能エネルギーのようにCO<sub>2</sub>を発生しないエネルギー源を利用して燃料や化学品を製造する技術の社会実装が必要である。本講座ではエネルギー源となる電力を利用して水の電気分解を行い水素を製造する技術、大気中から二酸化炭素を回収する技術、水素とCO<sub>2</sub>から液体燃料を製造する技術について概説する。また、そのようなシステムを成り立たせるために必要な要件に世界の開発状況について解説する。

1. 合成燃料の必要性
2. 合成燃料の製造プロセス
  - (1)電解水素
  - (2)CO<sub>2</sub>回収

- (3)メタノール経由
- (4)FT合成法経由
- (5)新しい合成プロセス
- 3. 合成燃料の需要とコスト構造
- 4. 国内・海外での事業計画
- 5. 質疑応答・名刺交換

(里川重夫 氏)

15:00-16:00

### III. CO<sub>2</sub>からの合成燃料製造用触媒・プロセスの開発

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、化石資源に代わり二酸化炭素を炭素源として活用し燃料等を製造するカーボンリサイクル技術の確立が求められている。本講座では、CO<sub>2</sub>から液体合成燃料（e-fuel）を製造する手法として、これまで開発されてきた手法や近年注目されている最新の研究開発状況について解説する。

- 1. 合成燃料製造技術の概要
- 2. CO<sub>2</sub>から合成ガスの製造技術
  - (1)逆水性シフト反応
  - (2)電解反応
- 3. COから炭化水素燃料の製造技術
  - (1)FT合成反応とは
  - (2)FT合成触媒
  - (3)FT合成反応器
- 4. 直接液化による合成燃料製造技術
- 5. 質疑応答・名刺交換

(望月剛久 氏)

16:15-17:15

### IV. カーボンニュートラル液体合成燃料の内燃機関への利用に向けた取り組み

2050年のカーボンニュートラルに向けては運輸部門を含めたGHG排出量削減が喫緊の課題となっている。このような背景からJPECはNEDOからの委託事業として、CO<sub>2</sub>を原料とした液体合成燃料の一貫製造技術の開発及び燃料利用技術に取り組んでいる。本日はその中の燃料利用技術の研究成果を中心に紹介する。

1. 研究概要
2. 各種液体合成燃料の製造技術
3. 各種液体合成燃料の燃料規格適合性及び内燃機関への利用技術について
4. 質疑応答・名刺交換

(岡本憲一 氏)

17:30-18:30

#### V. 合成燃料製造のための電気化学的CO<sub>2</sub>から合成ガスへの変換技術の開発

当社はエネルギーの安定供給と共に、カーボンニュートラル社会の実現に貢献する責務を果たすため、バリューチェーン全体を通じたCO<sub>2</sub>削減・資源化にも挑戦している。特に化石燃料を代替可能な合成燃料の日本への早期導入・普及を目指している。本講座では、当社の合成燃料に関する取り組みおよび研究開発中の電気化学的CO<sub>2</sub>電解による合成ガス製造技術の開発状況について紹介する。

1. 液体合成燃料の重要性
2. 液体合成燃料の種類および製造方法
  - (1) バイオマス由来合成燃料
  - (2) CO<sub>2</sub>由来合成燃料
    - a. e-methanol
    - b. e-fuel (FT油)
3. 当社における合成燃料の取り組み
4. 電気化学的CO<sub>2</sub>電解
  - (1) 技術紹介
  - (2) 当社における研究開発状況
5. 今後の展開
6. 質疑応答・名刺交換

(Qingxin Jia 氏)

－名刺交換など－

セミナー終了後、ご希望の方はお残りいただき、講師とご受講者間での名刺交換ならびに講師へ個別質問をお受けいたします。

お申し込み・お問い合わせ等は下記URLにてお願い致します。



- 第1位 「水素・アンモニアに関する事業・技術開発動向と取組み」  
(2024年4月24日(水)開催)  
<https://www.tic-co.com/seminar/20240415.html> アクセス数 1760  
件
- 第2位 「バイオマス等固体燃料の発熱・発火メカニズムと火災・爆発対策など制御・  
運用法」  
(2023年4月18日(木)開催)  
<https://www.tic-co.com/seminar/20240412.html> アクセス数 1387  
件
- 第3位 「日産の電動化戦略を支える技術開発とEV等車載電池リユースの取組みと再  
利用技術」  
(2023年4月24日(水)開催)  
<https://www.tic-co.com/seminar/20240418.html> アクセス数 1355  
件

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓  
<https://www.tic-co.com/access-lanking/al202405S.html>

今回は第1位に  
水素・アンモニアに関する事業・技術開発動向と取組み  
～講師4名【NEDO、INPEX、Air Liquide、IHI】ご登壇～  
がランクイン。

日本の水素推進の政策動向、NEDOにおける取組み、INPEXの水素・CCUSに関する取  
組みと  
ブルー水素・アンモニア製造・利用一貫実証試験、エア・リキードにおける酸素予熱燃焼  
と水素  
・アンモニア燃焼の取組み、IHIにおけるアンモニアバリューチェーン構築の取組みなど  
について、  
斯界の最前線でご活躍中の講師陣に詳説頂いた内容が多くの関心を集めたのでしよう。

関連セミナーとして

2024年6月26日(水)に

グリーン/CO2フリーアンモニア製造と合成に関する技術/研究開発動向・展望

～講師3名（日揮ホールディングス、東京工業大学、大阪大学）ご発表～

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20240607.html>

ならびに、

2024年6月25日(火)に

CO2からの合成燃料(e-methane、e-fuel)製造技術開発の動向と展望

～大阪ガス、成蹊大学、産業技術総合研究所、

カーボンニュートラル燃料技術センター、出光興産の方々がご登壇～

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20240611.html>

ならびに、

2024年6月21日(金)に

～講師3名（三菱化工機、東京ガスケミカル、川崎重工業）ご登壇～

水素事業と技術開発への取組み・展望

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20240614.html>

ならびに、

2024年6月28日(金)に

—脱炭素時代のジェット燃料—

SAF（持続可能な航空燃料）の製造技術と事業動向・取組み・展望

～講師4名【NEDO、日揮ホールディングス、日本微細藻類技術協会、環境エネルギー】

ご登壇～

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20240617.html>

ならびに、

2024年6月18日(火)に

高強度鋼の水素脆化とその評価・解析技術  
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20240612.html>

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

：：：：：：：：：：：： ☆ 書籍及び調査資料 ランキング ☆  
：：：：：：：：：：：：：

第1位 『グリーン燃料とグリーン化学品製造』  
<https://www.tic-co.com/books/23stm081.html> アクセス数 624  
件

第2位 『光半導体とそのパッケージング・封止技術』  
<https://www.tic-co.com/books/23stm080.html> アクセス数 555  
件

第3位 『リサイクル材・バイオマス複合プラスチックの技術と仕組』  
<https://www.tic-co.com/books/23sta147.html> アクセス数 542  
件

★アクセス数やその他の順位など、ランキング詳細はこちら↓  
<https://www.tic-co.com/access-lanking/al202405B.html>

今回は「グリーン燃料とグリーン化学品製造」  
が書籍・調査資料アクセスランキング第1位に。

地球温暖化による異常気象が世界各地に甚大な被害をもたらしている、GHG(温室効果ガス)ゼロに向けて、太陽光・風力発電、燃料電池車、人工光合成による水素製造、バイオマスを用いた燃料や化学品の合成、バイオエタノール・ディーゼル油・メタン・メタノール、アンモニア、MCH、液化水素の輸送、CO2地下貯留など、既に多くの技術の検討が行われ、研究開発に膨大な費用が投じられています。しかし未だ温暖化対策の決め手に

なる技術は絞られていないように思えます。

日本は再生可能エネルギーのコストを見極めた上で、早急に開発ターゲットを明確にしなければなりません。

そこで、グリーン燃料・化学品製造に関わる技術開発の最新動向とそれらのコストを解説する本書が関心を集めてのランクインでしょう。

関連セミナーとして

2024年6月26日(水)に

グリーン/CO2フリーアンモニア製造と合成に関する技術/研究開発動向・展望

～講師3名（日揮ホールディングス、東京工業大学、大阪大学）ご発表～

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20240607.html>

ならびに、

2024年6月28日(金)に

—脱炭素時代のジェット燃料—

SAF（持続可能な航空燃料）の製造技術と事業動向・取組み・展望

～講師4名【NEDO、日揮ホールディングス、日本微細藻類技術協会、環境エネルギー】

ご登壇～

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20240617.html>

ならびに、

2024年6月25日(火)に

CO2からの合成燃料(e-methane、e-fuel)製造技術開発の動向と展望

～大阪ガス、成蹊大学、産業技術総合研究所、

カーボンニュートラル燃料技術センター、出光興産の方々がご登壇～

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20240611.html>

ならびに、

2024年6月14日(金)に

～6名の講師による充実のラインナップ～

新たなバイオマス燃料に関する技術開発と事業動向

を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20240616.html>

ならびに、

2024年6月21日(金)に

～講師3名（三菱化工機、東京ガスケミカル、川崎重工業）ご登壇～  
水素事業と技術開発への取組み・展望  
を開催します。

詳しい内容はこちらをご覧ください。→

<https://www.tic-co.com/seminar/20240614.html>

この集計データが、皆様の業務に少しでもお役に立てば幸いです。

■ \_\_\_\_\_ ■

E-mail変更・不要について

■ \_\_\_\_\_ ■

E-mailアドレスが変更になった場合は、件名に「アドレス変更」と  
ご記入頂き、本文には、

★ 旧E-mailアドレス

★ 新E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますよう  
お願い申し上げます。

今後このご案内メールが不要でございましたら、件名に「不要」と  
ご記入頂き、本文には、

★ E-mailアドレス

をお書き添え頂きました上、このメールにご返信下さいますよう  
お願い申し上げます。

※下記URLでも承っております。

<https://www.tic-co.com/merumaga.html>

※このメールの返信にてお問い合わせをされますと、処理の都合上、  
ご回答までに一週間以上頂く場合がございます。

お問い合わせは [info@tic-co.com](mailto:info@tic-co.com) までお願い致します。

■ \_\_\_\_\_ ■



皐月、水無月に観たい北斎の「富嶽三十六景」と俳句

めぐりくる季節に合う名画と俳句、今年は葛飾北斎（かつしかほくさい）（1760～1849）の代表作で、日本美術の歴史を語る上で欠かすことのできない傑作として、国内外の人々に広く愛されている「富嶽三十六景」を紹介しています。今回はその三回目として皐月、水無月に観たい作品と俳句です。

19世紀後半のヨーロッパ芸術界を席卷した「ジャポニズム」。  
その火付け役となったのは、日本からフランスに輸出された陶磁器を包む緩衝材として使われていた「北斎漫画」だと伝えられています。  
これがある芸術家の目にとまり、そのデッサン力と多くのモチーフをいくつものパターンで表現する発想力に驚き、それがきっかけで、北斎や広重を筆頭とする日本の浮世絵など彼らの芸術作品が注目を集め、瞬く間にヨーロッパ中に広がって行きました。

フィンセント・ファン・ゴッホ、エドゥアール・マネ、エドガー・ドガをはじめ印象派の名画家たちが心酔し、天才ガラス工芸家エミール・ガレなど工芸の世界で活躍する芸術家たちも北斎や広重の作品の影響を色濃く受けました。

2020年、日本のパスポートが28年ぶりにリニューアルされ、査証ページの背景に「富嶽三十六景」の作品が敷かれるようになりました。  
今年、2024年にお目見えする新千円札の裏面に「神奈川冲浪裏」が採用されることになっています。  
また、今年3月19日、ニューヨークのクリスティーズで「富嶽三十六景」シリーズ全46図が競売にかけられ、355万9千ドル（約5億3700万円）で落札されました。  
まさに今、注目されている「富嶽三十六景」のうち皐月、水無月に観たい作品と俳句をお楽しみ下さい。

こちらから↓

<https://www.tic-co.com/kigoniasobu/zk202405.pdf>



最後までお読みいただきありがとうございました。

(株)技術情報センター メルマガ担当 白井芳雄

本メールマガジンのご感想や本メールマガジンへのご意見・ご要望等  
melmaga@tic-co.com まで、どしどしお寄せ下さいませ。

////////////////////////////////////

『 - その先の、深い情報へ。 - 』

(株)技術情報センター

〒530-0038 大阪市北区紅梅町2番18号 南森町共同ビル3F

[ T E L ] 06-6358-0141

[ F A X ] 06-6358-0134

[ U R L ] <https://www.tic-co.com/>

[ E-mail ] info@tic-co.com